○２２年産春野菜の需給・価格の見通しについて（概要）

資料2－1

- 品目（出荷期間）
- 卸売数量及び価格（東京都中央卸売市場　2/1～3/15）
- 供給：生産・出荷の現況（主産地全般）／天候（代表的産地）（注）今後１か月：2/27～3/26
- 需要：全品目共通／◆１人当たり購入数量(青)（対前年比、家計調査報告）▲１人当たり購入金額(緑)（対前年比、家計調査報告）●小売価格(東京都区部)(赤)（対前年比、小売物価調査）
- 需給・価格の見通し（第６回野菜需給・価格情報委員会（22.3.4）での見通し）

全品目共通

◆生鮮野菜の１人当たり購入数量（家計調査報告）

夏場は減少し、秋から冬にかけて増加するというトレンドは変わらず。2009年は特に8月から10月にかけて急増した。

◆ﾁｪｰﾝｽﾄｱの販売動向（ﾁｪｰﾝｽﾄｱ協会調べ）

(1)販売額
12月が多く、2月が少ないというのが毎年の傾向。食料品が販売額の多くを占めている。

(2)販売額の前年同月比
2009年は年間を通じて前年割れする厳しい状況。特に9月以降全品目で落ち込み。

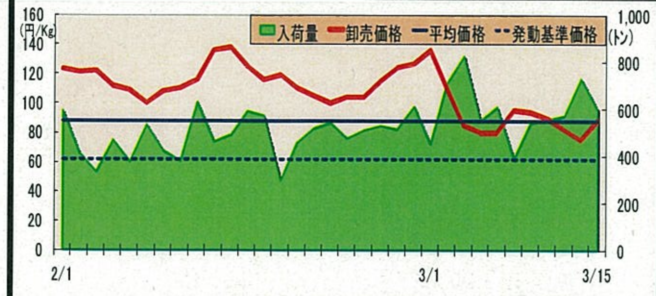
◆生鮮野菜の輸入動向（貿易統計）

過去5年平均を下回ったものの、夏場以降、前年を上回った。中国からの輸入数量は年間を通じて過去5年平均を大幅に下回った。

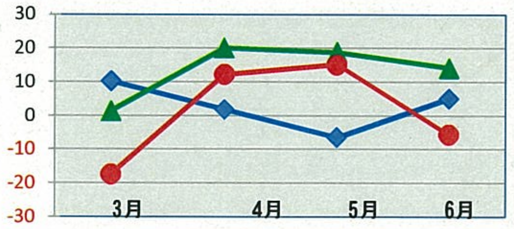
◆冷凍野菜の輸入動向（貿易統計）

過去5年平均とほぼ同じ数量で推移している。

春キャベツ（4～6月）



生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	やや上回る	気温	前年12-2月比　93% 今後１か月：平年より高め
現在の生育状況	やや遅れ	日照	前年12-2月比　98% 今後１か月：やや多め
産地の出荷見通し（対前年）	上回る	降水	前年12-2月比　89% 今後１か月：平年並

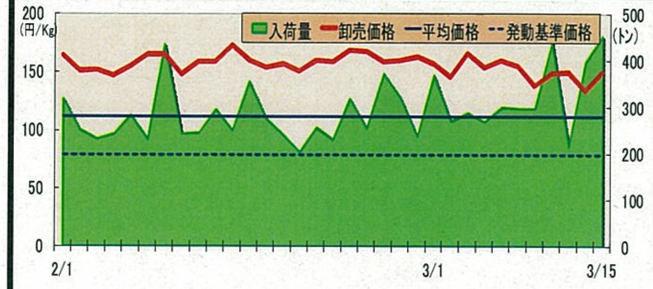


・作付面積は、愛知を中心に増えており、前年を上回る。

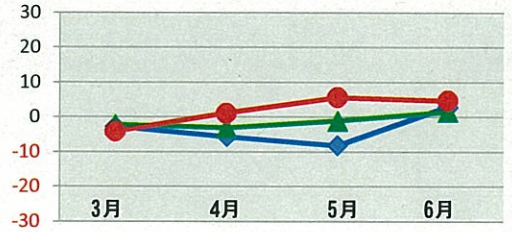
・今後、気象が平年並に推移すれば、５・６月を中心に、前年を上回る出荷が見込まれる。

・消費に関しては、近年やや増加を示す統計データはあるものの、出荷量の増加に見合う消費増は期待できないとみられる。
・このため、価格は、４月は平年並を維持するものの、５・６月は前年を下回ることが見込まれる。

たまねぎ（4～6月）



生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	並	気温	前年12-2月比　100% 今後１か月：前半高め、後半は平年並
現在の生育状況	並	日照	前年12-2月比　99% 今後１か月：やや多め
産地の出荷見通し（対前年）	貯蔵もの：下回る 卸売もの：上回る	降水	前年12-2月比　75% 今後１か月：平年並

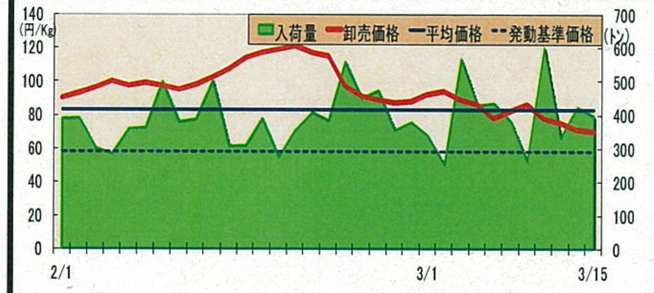


・北海道産の不作に伴い、高水準で推移した価格の動向は、４月以降弱まるものとみられる。

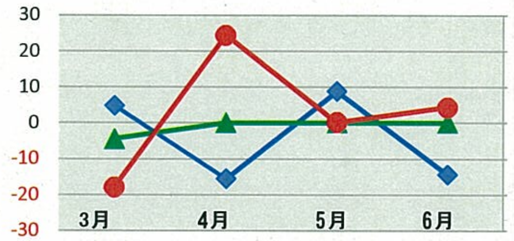
・今後、気象が平年並に推移すれば、　府県産は平年並の出荷量を維持することができるとみられることから、５月以降、価格は、前年を下回ることが見込まれる。

・なお、輸入ものも一定量が入っているが、生鮮ものの価格に影響することは少ないものとみられる。

春だいこん（4～6月）

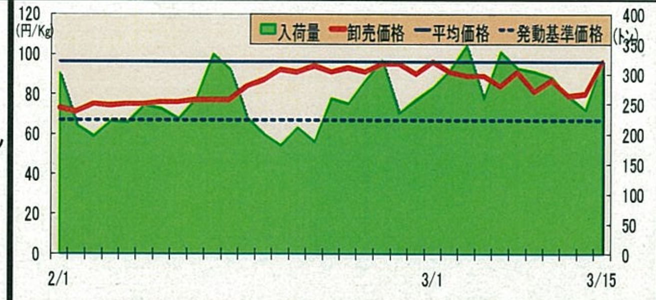


生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	並	気温	前年12-2月比　93% 今後１か月：平年より高め
現在の生育状況	やや遅れ	日照	前年12-2月比　98% 今後１か月：やや多め
産地の出荷見通し（対前年）	並	降水	前年12-2月比　89% 今後１か月：平年並

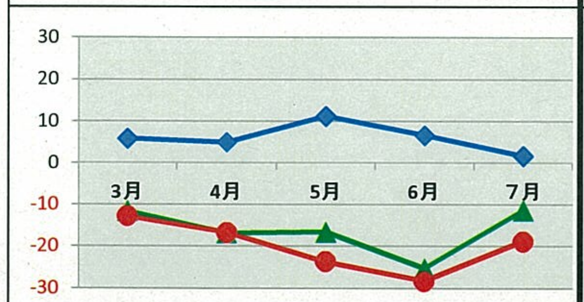


－

春夏にんじん（4～7月）

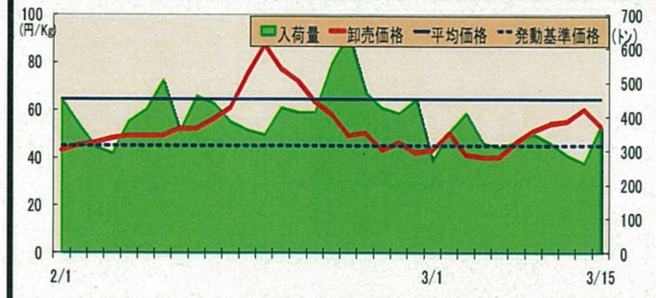


生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	並	気温	前年12-2月比　87% 今後１か月：高め
現在の生育状況	やや遅れ	日照	前年12-2月比　104% 今後１か月：やや多め
産地の出荷見通し（対前年）	下回る	降水	前年12-2月比　103% 今後１か月：平年並

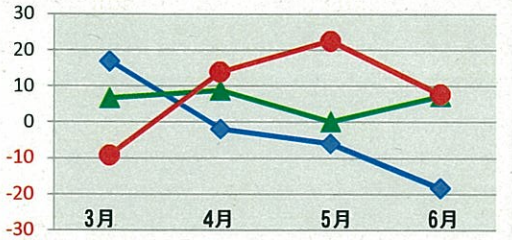


－

春はくさい（4～6月）

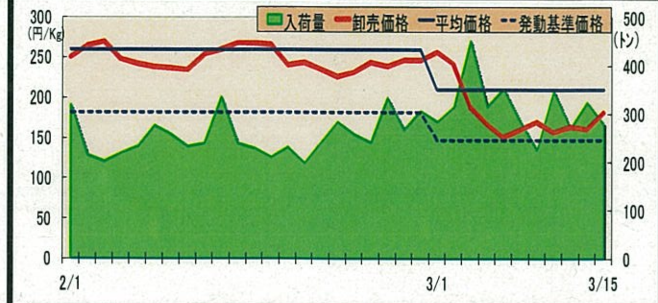


生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	並	気温	前年12-2月比　90% 今後１か月：平年より高め
現在の生育状況	並	日照	前年12-2月比　102% 今後１か月：平年並
産地の出荷見通し（対前年）	上回る	降水	前年12-2月比　71% 今後１か月：平年並

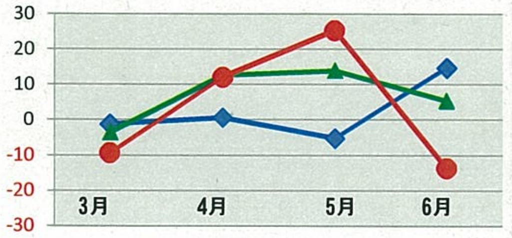


－

春レタス（4・5月）



生産・出荷の現況		天候	
作付面積（対前年）	並	気温	前年12-2月比　90% 今後１か月：高め
現在の生育状況	やや遅れ	日照	前年12-2月比　102% 今後１か月：平年並
産地の出荷見通し（対前年）	やや上回る	降水	前年12-2月比　71% 今後１か月：平年並



－